

# 真行草

令和6年

11月発行

第17号

編集・発行 浜松医科大学弓道部 OBOG 係 [hamaikyudoobog@gmail.com](mailto:hamaikyudoobog@gmail.com)

毎年1回発行

浜松医科大学弓道部 ホームページアドレス  
<http://hamaikyudo.wp.xdomain.jp>

## 百尺竿頭に一步を進む



↑6月 中部ブロック医科学生弓道大会

## 人生をどのように過ごすか？

弓道部師範 佐藤清昭

二年前の夏、私の恩師が亡くなりました。私が二十代の半ばにドイツへ留学して以来、「学問上の師」と仰いできた先生です。本来なら私が直弟子として「追悼の言葉」を書くべきところです。しかし少々考えるところがあって、亡くなった先生と同僚で、世界的にも著名な言語学者に書いてもらうことにしました。Harald Weydt [ハーラルト・ヴァイト] というドイツ人の教授です。

Weydt 氏とは何度かのやり取りがありました。以下は、そうして出来上がった最終的なヴァージョンの始まりの部分です（皆さんの中には、ドイツ語を学んだ方々も少なからずいるはずですので、一部簡略化した形でドイツ語も付します。訳は意識です）。

Am 16. Juli 2022 ist der Germanist Kennosuke Ezawa in Berlin sanft entschlafen.

2022 年 7 月 16 日、ベルリンにてドイツ語学者、江沢建之助が安らかに眠りについた。

Wenige Wochen zuvor saßen wir noch zusammen in Berlin in einer Pizzeria. Ich konnte nicht ahnen, dass sein Tod so nahe bevorstand.

その数週間前には、私たちはベルリンのピッツェリアで一緒に食事をしたほどであったから、私は彼の死がこんなに突然にやって来るとは思いもしなかった。

Es war ein angenehmer Abend. Wir sprachen über dies und das und kamen auch auf den Tod zu sprechen.

（食事をしたのは）心地よい晩であった。私たちはあれこれと話したが、最後には「死」についても触れるに至った。

Ich äußerte die Meinung, dass der Tod an sich **nicht traurig**, sondern dass er **notwendig** und **unausweichlich**, sogar **wünschenswert** sei.

私は、死というものがそれ自体、悲しいものではなく、必要なもの、避けがたいもの、いやそれどころか望ましいものでさえある、と話した。

Man könne jedem Kind, das heute geboren wird, voraussagen, dass es einmal alt sein und sterben wird. Das ist nicht traurig, das ist *la règle du jeu*.

我々は、今日生まれてくる子供の一人ひとりにあらかじめ言うことができるのである、君もいつか歳をとるのだよ、そして死ぬのだよ、と。これは

悲しいことではなくて、それは「ゲームのルール」なんだ、と。

Ken stimmte mir völlig zu. Wir waren beide der Ansicht, dass wichtig sei, **wie das Leben**, das sich zwischen Geburt und Tod abgespielt hatte, **verlaufen ist**.

江沢建之助は、私のこの考えに全く同感であると言ってくれた。そして私たちは、人が生まれてから死ぬまでの人生をどのように過ごしたかが重要である、という意見で一致したのである。

「追悼の辞」はまだまだ続きますが、ヴァイト氏のここまでの言葉では、「死というものが、悲しいものではなく、必要なもの、避けがたいもの、それどころか望ましいものでさえある」という部分が印象的です。そしてもうひとつ気になるのが、「人が生まれてから死ぬまでの人生をどのように過ごしたかが重要である」という言葉です。

亡くなった江沢氏もヴァイト氏も、学者（ドイツ語学者とロマンス語学者）ですから、「人生をどのように過ごすか」というのは、「学問的にどう過ごすか」、「言語学という学問によって、いかに『人類の知的財産』に貢献するか」ということを意味します。しかし世界は「学者」ばかりで構成されているわけではない。そして「学問」だけが世界を動かしているわけでもない。

確かに、「人が生まれてから死ぬまでの人生を『どのように』過ごすか」は、私たちが常に考えるべきことではあるけれど、「どのように」には多くのパターンがあります。学者として、医師として、看護師として、弁護士として、経済人として、政治家として、あるいは（私的なレベルでは）親として、パートナーとして、子として、友人として、.....。

さて皆さんも、コーヒーを手に 5 分か 10 分ほど時間を見つけて、「人生をどのように過ごしてきたか」、あるいは「これから過ごしていくか」について考えてみては如何でしょうか？何か「啓示」みたいなものが降りてくるかもしれません。

（ちなみに、「なるようにしかならない！」とか、「なるようになるさ！」という言葉がありますが、私は昔からこの表現はあまり使わないようにしています。）

部長挨拶

弓道部部长 三澤清先生(平成6年度卒)

2014年の4月に、佐藤清昭前部長から部長を引き継いで10年が過ぎました。今年は多くの大会が制限無く開催されました。大塚主将とはお話しする機会がほとんどなく残念でしたが、問題なく1年が過ぎた証拠と思っています。次の新主将と新幹部の方たちとはお話しする機会が多くなることを期待しています。

本当にこの1年、弓道部との交流がなく、部長挨拶を書く原稿内容が頭に浮かびません。これも、4月から附属病院の副病院長に就任したため、耳鼻科教室の仕事に病院の仕事が加わり個人的に忙しくなったためと思います。このような状況から、弓道部に“副部長”が必要と考えまして、呼吸器内科の中井省吾先生に内々に就任の依頼をさせていただきました。中井先生は、学生時代から熱心に弓道に取り組み、今でも学生と弓をひいていて一番身近なOBの先生のお一人です。きっと皆さんの力になってくれると思います。

一つの仕事を10年取り組めば、次の10年は他の仕事にシフトしていくのは当然のことです。弓道部設立時のメンバーは皆さん55歳以上になり、責任ある地位についてお仕事をされていると同時に、体力的にパワーが無くなっています。若いOB・OGの皆さんにバトンタッチしていくタイミングだと思います。学生の皆さんは、20代の4年、6年と短い時間ですが、充実したクラブ活動、学生生活を過ごしてほしいと思います。

OBOG 会長挨拶

OBOG 会長 丸山哲史先生(平成8年度卒)

例年になく厳しい暑さの続いた夏も過ぎ去り、過ごしやすい季節となつてまいりました。皆様におかれましては日頃より弓道部の運営にご協力いただき誠にありがとうございます。

2024年に入り国内はようやくコロナ禍から脱却し、社会経済活動の正常化が進みましたが、地震、台風などの自然災害に加え、世界各地での紛争、行き過ぎた円安や為替の乱高下など不安定な社会情勢が続

いております。今後も安定した社会というものが継続していく保証はなく、我々も広く情報を収集し備えを万全にしていく必要があります。春秋左氏伝に「居安思危 思則有備 有備無患」(安きに居りて危うきを思う 思えばすなわち備えあり 備えあれば患い無し)という一節があります。日本では地震対策などで使われる標語として有名ですが、もともとは国を治めるための心構えであり、自然災害に限らず、世の中のすべてのことに当てはまると思います。弓道において最も重要な精神の一つである「平常心」もまずは十分な備えがあってこそだと思います。この言葉が皆様のこれからの生活の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、今後とも浜松医科大学弓道部の活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前主将挨拶

第36代主将 大塚隼士(医学科4年)

立冬の候、OB・OGの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年9月より1年間主将を務めさせていただきました、医学科4年の大塚隼士です。

1年間主将の職務を全うすることができたのは、部員の協力だけでなく、OB・OGの皆様のご支援のおかげです。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの大きな波を乗り越え、西医体・西看大をはじめとした対外試合がコロナ以前のように開催されるようになり、活気ある部活動を行うことができるようになりました。部員の中では自らの弓道・射を高めるだけでなく、対外試合などの他校との関わりを通じて刺激を受け、更に研鑽に励む雰囲気生まれつつあるように感じております。後輩たちの成長を感じるとともに、よりよい弓道部を作り上げてくれると確信しております。

この1年間、部員一人一人が様々な形で、自発的に部活動に関わっていくことができる、関わっていきたいと思えるような環境を作ることを目標に励んでまいりましたが、部員それぞれが各々の考えを持っている中で、全体を見渡し、まとめるということ

の難しさ、先輩方の偉大さを痛感いたしました。この経験を糧に私も引退した身ではありますが、今後も部のためにできることは精一杯やろうと考えております。

次期主将は医学科3年の金子翼が務めます。優しく、みんなに愛される彼ならば弓道部をより良い部活にしてくれることと思います。

末筆になりましたが、OB・OGの皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、前主将挨拶とさせていただきます。

---

#### 新主将挨拶

第37代主将 金子翼(医学科3年)

向寒の候、OB・OGの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

9月より浜松医科大学弓道部の第37代主将を務めることとなりました、医学科3年の金子翼と申します。OB・OGの皆様が築き上げてこられた伝統ある部の主将を務めさせていただくことを誠に光栄に存じますとともに、その重責に身の引き締まる思いです。

今年度も医学科から17名の新入部員を迎え、現役部員が38名、合計で61名という、ますます賑やかな部活となりました。OB・OGの皆様のご支援のおかげで、このような大人数で弓道の稽古に励み、多くの試合へ参加し力を競うことが出来ております。この場をお借りして皆様に厚く御礼申し上げます。皆様により良い結果をご報告できますよう部員一同、一層精進してまいります。

私は主将として、浜松医科大学弓道部をより強いチームへと発展させるとともに、部員一人ひとりにとって得るものがある、有意義な時間を過ごせる環境づくりに尽力したいと考えております。部員全員が自己を律し、互いに研鑽することで、弓道の技術向上はもちろんのこと、人間としても大きく成長できるような雰囲気醸成する所存です。

未熟な点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるとは存じますが、変わらぬご指導ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健勝とご発展を心からお祈

り申し上げます、新主将挨拶とさせていただきます。

---

#### 前看護科主務挨拶

水越杏実(看護学科3年)

落葉の候、OB・OGの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、深く御礼申し上げます。

昨年9月より1年間、看護科主務を務めさせていただきました看護学科3年の水越杏実です。

今年8月、数年ぶりに西看大が対面形式で開催されました。全員がいつもの調子を出し切ることができませんでした。台風の迫る中、無事に浜松に帰ることができました。大規模な対面形式での対外試合に参加できたという今回の経験を活かし、来年度はより有意義なものにしていきたいと思っております。

新看護科主務は、看護学科2年の國本千愛が務めることとなりました。彼女は弓道の練習をはじめとして何事にも熱心に取り組み、細かいところにも気を配ることができます。これからの看護学科を引っ張っていく存在となることと思っております。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます、前看護科主務の挨拶とさせていただきます。

---

#### 新看護科主務挨拶

國本千愛(看護学科2年)

霜寒の候、OB・OGの皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

9月より看護科主務を務めさせていただくことになりました、看護学科2年の國本千愛と申します。

今年の8月には西日本看護学生弓道選手権大会が名古屋で開催されました。昨年、一昨年とオンライン形式で行われてきた本大会でしたが、今年は対面で

の開催となり、実際に会場で弓を引くことができてもうれしく感じております。良い結果を残すことはできませんでしたが、各々が楽しく弓を引くことができ、貴重な経験を得ることができました。来年はみなさまにより良いご報告ができますよう、看護学科一同日々弓道に励んでまいります。

さて、弓道部に入部して1年が経ち、自分が弓道部に貢献できることは何かを考えるようになりました。学年に関わらず仲が良く、部員一人ひとりが自分のペースで弓道に取り組むことができることが弓道部の魅力だと思います。弓道部の良さを活かし、看護学科だけでなく部員全員が楽しく弓道に励むことができるよう、尽力していきたいと考えております。何かと至らぬ点が多々あるかと存じますが、弓道部のために精一杯努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しく願いいたします。

末筆ながら、皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、新看護科主務の挨拶とさせていただきます。

### OB・OGの方々からご寄稿を頂きました!

OBOG 会 名誉会長

片桐伯真先生(平成3年度卒)

皆さんこんにちは。弓道部 OBOG 会の中でも更に OB となった片桐です。浜松医科大学弓道部創設以来常に年長の立場で関わる者として、これから医療人としてご活躍されます皆様へのアドバイスも兼ね寄稿させて頂きました。今、医療現場に身を置く皆様、これから医療現場に身を置くため研鑽されている皆様にとって、ご期待に添えるような内容とはいかないまでも、何かの参考になれば幸いです。なお今回は弓道部 OBOG 会員としての立場ではなく、今の立場(総合病院の管理職)で原稿を書くことをご容赦下さい。

現在私は浜松市内にある聖隷三方原病院でリハビリテーション科の医師の立場と同時に、管理職として、医療安全管理や病院機能改善、産業医としての安全衛生や職員健康管理などを担っております。対外的には病院機能評価のサーベイヤーもさせて頂い

ております。病院の主な役割は医学・医療学に基づく診療(診断や治療・療養)を行う場であり、その中で医師や看護師は表舞台で直接患者と関わる立場として業務を遂行しているのは皆様もご承知の通りです。しかし医師・看護師が表舞台で活躍するためには、その裏方となる立場の職員がいて、はじめて実力を出すことが可能となります。いわゆる縁の下の力持ちといった立場の方々になります。医療技術職や事務職といった方々がそれに当たります。しかし裏方となっている方々がどのような仕事を担い、それによって病院経営を含めた組織維持が出来るかを知る機会はなかなか無いのではないかと思います。正直私自身も管理職に就いてはじめてその現実を知ることとなりました。そして今はその方々を含めた職員や病院環境を支える立場になり、改めて病院の土台を支えている方々の大変さを知るとともに、そのサポートをすることの大切さを感じることができております。

医療現場はここ数年で様々な変革がありました。臨床研修制度、キャリア教育、働き方改革などの言葉はどこかで耳にしたことがあるとは思いますが、いずれも医療現場で働く方々の健康(メンタル面を含む)やモチベーションを高めることが目的に導入されてきたようです。しかしその目的が制度導入により達成されたかと言えば、残念ながらその恩恵を受けているのは一部に留まり、逆に多忙、やり甲斐の喪失から休職や離職する人も未だ少なくありません。

医療現場は今まで以上に多様化し、複雑化しております。診断・治療機器の進歩のみならず、倫理的課題に対する判断が求められる場面も多く、それは多職種がそれぞれの情報や立場、考え方をすりあわせて少しでも納得できる結論を求めるプロセスが認められます。このときに重要となるのが、誰かのトップダウンで結論を導くのではなく、多くの方々の考え方を集約することであり、まさに参加した方々がそれぞれ物言える中でのチームアプローチが求められます。その際に重要となる考え方に「心理的安全性」があります。これはチーム(組織)の中で自分の考えや気持ちを誰に対してでも安心して発言できる状態のことです。これにより多種多様な考え方に触れ、一人では考えられないようなアイデアなども創出されます。

先輩後輩の立場を重んじ、人生の先輩を敬うこと

などももちろん大切ですが、それにばかりこだわると、組織発展の機会が失われる可能性もあります。出る杭は打たれる組織や過去の栄光にこだわる組織では発展の機会は乏しくなります。これから医療機関をはじめ新たな変革が求められると思いますが、その際人任せにするのではなく、何が出来るかを自分事として考える発想を是非持てる医療人になって下さい。そのためには医学を勉強するだけではなく、それ以外の考え方や経験に触れる機会も是非持つて下さい。

これからも弓道部の部員やOB・OGの方々が様々な領域で牽引する立場の医療人としてご活躍されますことを心より願っております。そしてそのために先輩方の意見が必要であれば是非御相談下さい。皆様にとって相談することのハードルが低くなり、心理的安全性をもって関わられる先輩としてこれからも応援しております。

浜松医科大学医学部附属病院

武内智康先生(平成 21 年度卒)

2010 年卒の武内智康と申します。脳神経内科に進み、2014 年からは浜松医大で勤務しております。

私が入部した頃は、弓道部は学業において優秀で真面目な先輩方が多かったように思います。代々受け継がれる試験対策のコピー（今の学生さんは PDF などでしょうか）も、弓道部の先輩が作ったものを暗記していました。そんな優秀な弓道部の中で、私は初めて7年間学生をした部員でした。当時を思い出しますと、先輩方は落とした科目の教授と一緒に謝りに行ってくれ（僅かな望みであった追々試は叶いませんでしたが）、同級生も試験を落とさないように気にかけてくれたり、後輩も一緒に試験勉強してくれたりとお世話になることばかりでした。留年後も弓道部で、充実した学生生活を送ることが出来ました。無事に卒業できたのも、当時の弓道部の皆のおかげだと感謝しています。私が学生の頃も弓道部は比較的大きな部でしたが、今は更に発展しているようで誇らしく感じております。

そんな私ですが、今はポリクリや学部の講義で指導をする立場になってしまいました。自分の学生時

代を思うと、今の学生さんたちは真面目かつ熱心でとても感心しております。単に国家試験的な知識の習得のみでなく、プレゼンテーションや英語の活用など、求められることも増える一方で大変だと思います。ポリクリでは医学科学生と接していますが、弓道部ですと話してくれる学生もいて、とても嬉しくなります。

今の学生生活は情報や選択肢に溢れ、私達が学生だった頃とはまた異なる苦労があるかと思いますが、やはり部活・学業・人間関係で悩むことは変わりないかと思います。学生生活は苦労と楽しいことの連続ですが、皆さんで協力しあい、弓道部が今後も発展していくことを祈っております。

浜松医科大学医学部附属病院

村上諒様(平成 29 年度卒)

浜松医科大学弓道部の皆様、OB・OG の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平成 29 年度看護学科卒業生の村上諒と申します。現在、浜松医科大学医学部附属病院の集中治療部と救急外来で勤務しております。この度寄稿の機会をいただき、大変光栄に存じます。

看護師 1 年目の頃は絶対に集中治療部・救急外来は怖いから異動したくない、異動になったら辞めよう、と強く思っていた私ですが、5 年目に異動となりました。緊急度・重症度が高い患者さんの対応にやりがいと難しさを感じつつも、なんとか楽しく働かせていただいております。人生何が起こるかわかりませんね。なにより現部署は全科の患者さんが運ばれてくるため、弓道部を卒業され、各科でご活躍されている先生方と協働する機会が多く、そこもやりがいの一つとなっております。

何度か部内試合でOB・OGの先輩方とチームを組んで参加させていただいております。現役生の皆様との交流をするたびに、とても賑やかで楽しく、仲の良い部活だなと懐かしくも嬉しく感じるとともに、卒業生を温かく迎えてくださる現役生の皆さんに感謝を感じております。今後も皆様が楽しく弓を引けるよう、可能な範囲ではございますが支援させていただく所存です。卒業された先輩方、お忙しいとは存

じますが、ぜひ一緒に OB・OG チームとして弓を引きませんか？

末筆ではございますが、皆様の今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

横須賀共済病院

本堂一輝先生(令和5年度卒)

向寒の候、OB・OG の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。令和5年度医学科卒、横須賀共済病院研修医1年目の本堂一輝と申します。初期研修医として右も左もわからない中、同期や先輩方、上級医の先生方、看護師さんをはじめとするコメディカルの方々に支えられつつ、必死に働き、気が付けば半年が過ぎました。まだまだ医師としては未熟ではありますが、医師という仕事のやりがいや責任の重みを感じながら充実した日々を送ることができています。この度は貴重な寄稿の機会をいただきまして誠にありがとうございます。

思えば、私の学生生活はコロナとどのように付き合い合っていくかに頭を悩ます毎日でした。コロナ前と同等の環境になった現状を羨む気持ちもある反面、不思議なことに今思い出すのはコロナ禍で奮闘した日々ばかりです。先輩、同期、後輩たちと力を合わせ、OB・OG の先輩方が紡いできたものをコロナ禍という状況でも繋ぎ止め、引き継いでいくことができた経験は私にとって学生生活の大きな財産となりました。

先日、岡山にて行われました西医体の応援に行かせていただきました。大きな会場で繰り広げられる熱戦を前に、試合の緊張感、高揚感を鮮明に思い出し胸が熱くなりました。結果は惜しくも団体での入賞は逃したものの、個人戦での入賞者があり、全医体までもあと一歩のところまで迫ったようでした。また、多くの新入部員にも会うことができました。私たちが繋いできたものがしっかりと引き継がれていること、そして浜松医科大学弓道部がより一層躍進していくことを確信できる日となりました。私も OB の一員として部員の皆さんがこれからも充実した部活動を行えるよう微力ながら援助できたらと考えております。

末筆ではございますが、OB・OG の皆様のご健康とご多幸、今後の弓道部の発展を心よりお祈り申し上げます。

今年度も OB・OG の方々からご寄稿を賜りました。お忙しい中、誠にありがとうございました。今年度に引き続き、来年度の会報誌にもぜひご寄稿のご協力をお願い申し上げます。

## 近況報告 (一年間の弓道部の様子と、部員からの近況報告を掲載します)

OB・OG の皆様、平素よりご支援いただき誠にありがとうございます。

コロナの前後を経験した身として、先輩方からいただいた伝統や技術を後輩へと受け継ぐことができたか不安に思う時もありましたが、今年度の西医体にて部員が活躍の様子を見て、一安心するとともにその輝かしい姿に感銘を受けました。今後も弓道部の発展を願いつつ、私も活動に貢献していけるよう尽力してまいります。今後とも弓道部をよろしく願いいたします。

一ノ宮未来(医学科 6年)



↑ 12月 東海医歯薬学生弓道大会

OB・OG の皆様、平素よりご支援を賜りましてありがとうございます。弓道部に入部してから約半年が経ちました。OB・OG の皆様からのご支援と道場にいらっしゃる先輩方のおかげで、弓道を楽しみながらも真剣に向き合うことができ、充実した日々を送ることができています。これからも皆様への感謝を忘れず、精進してまいります。

鈴木貴大(医学科 1年)



↑ 7月 夏季県下大会

OB・OG の皆様、平素より多大なご支援を賜り誠にありがとうございます。皆様方のご支援と先輩方の温かいご指導の下、日々稽古に励んでおります。弓道を始めて早くも1年半が経ち、いよいよ自身が後輩を指導する立場になろうとしています。まだまだ未熟ではございますが、弓道部の歴史を受け継いでいけるよう精進してまいります。

吉岡称(医学科 2年)



↑ 1月 三十三間堂

OB・OG の皆様には平素より多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私自身なかなか弓道場にはいくことができていませんが、たまに顔を見せると後輩の成長した姿を肌で感じ、驚かされるとともに、どこか寂しさを感じる毎日です。

このような場を築き、継承してくださった皆様に心より感謝申し上げます。私も残り短い期間ではありますが、皆様方から伝えていただいた知恵や伝統を少しでも多く後輩たちに受け継いでいけるよう、精進してまいります。

林茉莉亜(看護科4年)



↑12月 冬のうなぎ杯



↑3月 メモリーカップ

OB・OG の皆様、平素より多大なるご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

弓道部に入部して早くも3年目を迎え、ついに現役生の最高学年となりました。先輩方の部活動を支える力の大きさや指導力、積み上げてきた功績に改めて尊敬の念を抱きつつ、自分の力の弱さに打ちひしがれる毎日をご過ごしております。現役生の最高学年として部活動や後輩たちに何を残すことができるのか、日々自問自答しながら部活動に励んでまいります。

池谷花蓮(医学科3年)

OB・OG の皆様、平素より多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。弓道部に入部してから半年が経ち、初心者の私も OB・OG の皆様のご支援や先輩方のご指導のおかげで、弓を引けるようになりました。弓道の奥深さに触れるたびに、自分の未熟さを実感しつつも、その一方で、新たな発見や成長の喜びを感じています。一射一射を大切に、心を込めて弓道に向き合っていく所存です。

須賀結貴(医学科1年)



↑9月 主将杯

OB・OG の皆様、平素より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

私も来年度には卒業いたしますが、今後も先輩方が残して下さった伝統を引き継げるよう、練習に励む後輩たちを全力でサポートしていく所存です。現役生として活動していた際、OB・OG の皆様のご支援のおかげで不自由なく研鑽を積むことができたことを忘れず、今後は部活に恩返しできるよう努めていきます。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

阪部千峻(医学科 5年)



↑8月 西医体



↑7月 夏のうなぎ杯

OB・OG の皆さま、平素より多大なご支援を賜り誠にありがとうございます。

今年度は幹部学年として動く中で、先輩方の偉大さを改めて感じ、引退をした今は弓道部の温かさ、繋がり強さをより一層感じております。このような恵まれた環境を受け継いでくださった OB・OG の皆さまに感謝いたします。これからも、後輩たちに少しでも還元していきたいと思っておりますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

小嶋優規乃(医学科 4年)

OB・OG の皆様、平素より多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

弓道部に入部して1年半が経ちました。今年度は大勢の新入生が入部し、道場は活気にあふれています。2年生としては初めて後輩ができ、先輩として少しでも成長しなければと身の引き締まる思いでいます。まだまだ未熟な身ではございますが、OB・OG の皆様が築いてこられた伝統を引き継いでいけるよう、日々精進してまいります。

鈴木佑月花(医学科 2年)

春には、医学科 12 人の先輩方がご卒業され、新たに医学科 17 人の新入生を迎えました。

OB・OG の皆様、平素より多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。弓道部に入学して半年が経ち、先輩方からのご指導や、OB・OG の皆様のご支援のおかげで弓道を楽しむことができています。これからも皆様への感謝の気持ちを忘れず、部活動に取り組んでいきたいと思っております。

遠藤匠真(医学科1年)



↑2月 春季県下大会



↑11月 グラスカップ

OB・OG の皆様、平素より多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。コロナ禍による制限を越えて活動の幅が広がり、部員数も増え年々活気が増しております。これからは引退生として現役生を精一杯サポートしつつ、今後も弓道に励んでいきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

岡田望鶴(医学科4年)

OB・OG の皆様、平素より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。今年度も多くの新入部員を迎え、部内がこれまで以上に活気に満ちた一年となりました。皆様のご支援のおかげで、部員は日々稽古に励み多くの試合で成果を上げることができました。これからも伝統を受け継ぎつつ、より一層の発展を目指してまいります。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

松本萌弥(医学科5年)

## PDF ファイルについて

本年度もカラーページが多いため、より見やすいものを見ていただけるように、ホームページからダウンロードをできるようにいたしました。是非ご覧ください。

<http://hamaikyudo.wp.xdomain.jp> から  
[アイテム] → [会報誌] にてご覧になれます。

## 試合結果 (2023.10~2024.9)

三校戦 2023. 10. 21

### 【団体戦】

男子団体 優勝  
女子団体 A 優勝  
女子団体 B 準優勝

### 【男子個人戦】

優勝 月森康夫 (医学科 3 年)  
第 3 位 加藤脩志 (医学科 4 年)

### 【女子個人戦】

優勝 村松真衣 (医学科 2 年)  
準優勝 高橋凜 (医学科 3 年)  
第 3 位 生越あさぎ (看護学科 3 年)



東海医歯薬学生弓道大会 2023. 12. 3~4

### 【団体戦】

男子団体 準優勝

### 【男子個人戦】

準優勝 杜博文 (医学科 6 年)

### 【女子個人戦】

第 4 位 山本欣玲 (医学科 3 年)



しゃちほこ杯 2023. 11. 19

### 【団体戦】

男子団体 (72 射 25 中)  
女子団体 A (36 射 17 中)  
女子団体 B (36 射 11 中)

### 【女子個人戦】

優勝 村松真衣 (医学科 2 年)

静岡県下学生弓道選手権春季大会 2024. 2. 29

【男子個人戦】

第3位 岡田望鶴 (医学科3年)

【女子個人戦】

準優勝 齋藤遥 (医学科3年)



静岡県下学生弓道選手権夏季大会 2024. 7. 13

【団体戦】

女子団体 C 準優勝

女子団体 A 第3位

【男子個人戦】

第4位 岡田望鶴 (医学科4年)

【女子個人戦】

優勝 江川由愛 (医学科5年)

準優勝 生越あさぎ (看護学科4年)

第3位 水越杏実 (看護学科3年)

第4位 高橋凜 (医学科4年)

第5位 村松真衣 (医学科3年)

東海地区国立大学体育大会・弓道競技 2024. 6. 15

【団体戦】

男子団体 (20射10中)

女子団体 (12射2中)

中部ブロック医科学生弓道大会 2024. 6. 21~22

【団体戦】

男子団体 準優勝

【男子個人戦】

優勝 鷺坂千尋 (医学科2年)

第5位 吉岡称 (医学科2年)

最優秀射技賞 月森康夫 (医学科4年)



西日本医科学学生総合体育大会 2024. 8. 10～12

【団体戦】

男子団体 第6位

女子団体 第6位

【女子個人戦】

準優勝 江川由愛 (医学科5年)



西日本看護学生弓道選手権大会 2024. 8. 14～16

【団体戦】

女子団体 A (60 射 12 中)

女子団体 B (40 射 4 中)

学年はすべて当時のものを記載しております。

弓道部倉庫を新調いたしました！



↑旧倉庫



↑新倉庫

この度、老朽化しておりました弓道部の倉庫を新調いたしました。これもひとえに OB・OG の皆様からのご寄付によるものであり、心より感謝申し上げます。

## 昇段審査結果(2023. 10～2024. 9)

2023 年

### 11 月 第 7 回 地方審査会

(静岡市・北部体育館 中央体育館)

初段 相場美羽 (医学科 1 年)  
及川唯衣 (看護学科 1 年)  
國本千愛 (看護学科 1 年)  
鈴木志音 (医学科 1 年)  
鈴木佑月花 (医学科 1 年)

参段 高林直也 (医学科 5 年)

2024 年

### 2 月 第 8 回地方審査会

(静岡市・北部体育館 中央体育館)

初段 山田あかり (看護学科 1 年)

参段 奥田翔一 (医学科 2 年)  
一ノ宮未来 (医学科 5 年)

### 4 月 第 2 回地方審査会

(浜松市・浜松市弓道場)

式段 大前実優 (医学科 2 年)  
吉岡称 (医学科 2 年)

参段 千頭和京太 (医学科 6 年)

### 5 月 第 3 回地方審査会

(静岡市・北部体育館)

式段 鈴木佑月花 (医学科 2 年)  
杉森徳心 (医学科 3 年)

参段 高橋凜 (医学科 4 年)

四段 遠藤青嶺 (医学科 3 年)

### 6 月 東海連合審査

(岐阜市・岐阜メモリアルセンター長良川弓道場)

五段 加藤脩志 (医学科 5 年)

### 9 月 第 4 回地方審査会

(静岡市・北部体育館 中央体育館)

式段 鈴木志音 (医学科 2 年)  
松井良介 (医学科 2 年)  
山田あかり (看護学科 2 年)  
吉田悠人 (医学科 2 年)

参段 赤津颯太郎 (医学科 2 年)

### 9 月 第 5 回地方審査会

(藤枝市・静岡県武道館弓道場)

一級 古畑寿奈桜 (医学科 1 年)  
鈴木謙心 (医学科 1 年)  
瀬畑勇誠 (医学科 1 年)

初段 佐野稜太郎 (医学科 1 年)

学年はすべて当時のものを記載しております。

## 第7回 OBOG 総会のお知らせ

第6回 OBOG 総会では、多くの OB・OG の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

第7回 OBOG 総会は、2026年2月21日に開催を予定しております。前回同様、多くの OB・OG の皆様のご参加を心よりお待ちしております。詳細は決まり次第ご連絡いたしますので、どうぞよろしくお願いたします。

## 会費・決算報告について

OB・OG の皆様に OBOG 会費納入のご協力をお願い申し上げます。詳細は、同封の別紙をご参照ください。

また、前年度の決算報告について記載した報告書も同封いたしました。多くのご支援、深く感謝いたします。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ● 編集後記

初冬の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。

今年2月、第6回 OBOG 総会を無事開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響により長らく対面での開催が叶いませんでしたが、6年ぶりに対面形式で皆様にお集まりいただき、旧交を温める貴重な機会となりました。当日は、多くの OB・OG の皆様にご参加いただき、当時の思い出を共有することができ、大変感慨深い時間となりました。改めまして、ご参加いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

また、今年度は岡山で開催された西日本医科学生総合体育大会（西医体）をはじめとする遠征費の補助にも、多くのご支援を賜りました。部員一同、心から感謝しております。西医体では、男子、女子ともに第6位という結果を収めました。残念ながら全日本医科学生体育大会王座決定戦（全医体）への出場は叶いませんでしたが、部員たちは日々稽古に励み、次回こそ更なる飛躍を目指して邁進する所存です。

さらに、新たに中井省吾先生に副部長としてご尽力いただくこととなり、大変心強く感じております。先生のご指導のもと、部員一同さらなる成長を目指して活動してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願申し上げます。

最後になりますが、今年度も引き続き、浜松医科大学弓道部へのご支援とご厚情を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

OBOG 係 杉森徳心 吉田悠人 小川蒼生 児玉和華子